



## < 文福連続学習会報告 >

前号で、学習会の案内を載せましたが、何を上映するか決まっていませんでした。それで、遅ればせながらストーリーも含めて報告をしたいと思えます。

去る、5月27日サンフォルテにて、今年度はじめての学習会で、「海を飛ぶ夢」という映画を観ました。私たちの学習会では、この間ずっと「安楽死」や「尊厳死」の問題を取り上げてやってきました。

今回の映画は、やはり「尊厳死」を巡っての、スペイン、フランス、イタリアの合作伝記映画でした。

### 海を飛ぶ夢

#### 【作品】

2004年のスペイン・フランス・イタリア合作の伝記映画。原題はスペイン語で「内なる海」の意味。25歳の時に頸椎を損傷し、以来30年近くものあいだ全身の不随と闘った実在の人物、ラモン・サンペドロの手記『地獄からの手紙』（西: Cartas desde el Infierno; 1996）をもとに、尊厳死を求めて闘う主人公を描いた。



#### 【ストーリー】

ノルウェー船の搭乗員として世界中を旅していたラモンだったが、25歳の夏、ある事故で首より下が不随となってしまう。

それ以来、実家で寝たきりの生活となったラモンは、農夫の兄ホセとその妻マヌエラなど家族の献身的な世話に支えられ余生を送っていた。だが事故から26年後、「依存する人生」に絶望したラモンは自らの死を渴望する。尊厳死を望むラモンとその家族・友人の葛藤や、それを取巻く様々な問題を描いたヒューマンドラマ。

尊厳死団体のジェネ、弁護士のアリア、子連れで離婚したロサと出会う。アリアは無料で弁護を引き受け、住み込みでラモンとコミュニケーションを取り、情報を集める。その過程でラモンはアリアに想いを寄せていく。尊厳死の法廷での闘いの最中、アリアが発作で倒れてしまう。進行性の難病を患い人生に絶望を抱えていたアリアは、自らも尊厳死を迎える決意をし、ラモンとともに誰も犯罪にならずに済むよう死の計画を立てる。この時、ラモンは書き溜めていた詩を出版する計画を立てており、アリアは出版社を捜してスペインを飛び回っていた。

しかし、出版社が見つかりラモンの自伝が製本された頃、アリアは認知症を発症し、もはやアリアの協力でラモンは死を遂げることができなくなる。そのため、ラモンに思いを寄せ執拗に付きまとっていたロサや友人たちの協力の下、遠く離れた郊外で誰の殺人の罪にもならないように綿密に計画した、自殺計画をロサの「手伝い」のもと行うことにする。

ビデオカメラをまわし、最後のメッセージを残し、青酸カリを飲み死亡する。アリアは症状が進みながら、海に見える家で夫と暮らしていく。

(出典：ウィキペディア)

- ・ラモンは、障害があり全介助を受けているが、介助によって生きることは尊厳のない生き方だと考えている。尊厳を保つために死ぬと主張する。
- ・車イスは自由の残がいにすぎりついていくことだと考えている。
- ・兄は「家族は、弟のことを大切に思い、介助している」と思っている。
- ・甥は、高齢になって活動量が減った祖父のことをバカにしている。
- ・尊厳死を望む自分の主張を、TV インタビューで答えている。
- ・尊厳死が罪に問われず、権利として可能になることを主張している。
- ・(神様から与えられた) 命に対して責任があると考える人が多い反面、安楽死を支持する国民もいる。
- ・命に対して責任があるという考え方。
- ・自由が代償の自由は自由ではない。(意味不明)
- ・神父は、ラモンの家族は愛情が不足しているという。 猛烈な反発！



うですね。この映画をきっかけにして、スペインでは安楽死法制化運動が高揚し、21年ペドロ・サンチェス政権において実現されたようです（ウキペディア参照）。

二つの視点から感想を述べてみます。

一つは、患者とケアを主に担っている人(ケアラー)との関係について。映画では患者の外部の人、その象徴的存在としてのカトリック神父による「患者が死を望むのは家族に愛が足りないから」という、私のような家族ケアラーから言わせれば、最悪の非難です。患者とケアラーの間では、お互いを強く求めたり、逆に遠ざけたい気持ちになるのです。ケアラーにとって献身的ケアすることに生きがいを見出すことも、「ケアの奴隷」みたいに息苦しくなること、どちらにもぶれます。患者の側でも同じように強く助けを求める気持ちと、自分が縛られている気分とが共存しているのです。これは愛や倫理（正義）という次元では、括ることができない問題だと思います。生きることがラクになるための条件を整えることこそが必要なのです。家族の固定的なケア態勢から、第三者がケアできるような体制と文化が求められていると思いました。

二つ目には、安楽死をめぐる問題はどちらが正しい、というような簡単な解決は見いだせない、ということです。今回の映画では、そういうことを強く感じさせられました。

同時に、マイノリティの側の安楽死を拒否する生きざまを描いた表現が少ないのでは？とも思いました。考えの違う患者当事者の思いを両方ともしっかりと聞き留めていく必要を強く感じました。



## ★ NPO法人文福の会員募集 ★

日頃、多大な協力をいただきありがとうございます。

文福では、障害者と健常者が一緒に障害者の社会参加を進めることと、障害者の自立生活を支えることを目的に、障害当事者による部会活動、介助保障のためのヘルパー派遣事業、人権と差別を考える学習会、障害者と健常者が一緒に楽しめるレクリエーションなどを行っています。

今後も誰もが平等に社会参加でき、地域で当たり前に関わり合い生きていくための活動や事業を行い、また優生思想を考える学習会など、一人ひとりの命や人権の大切さを問う企画を継続して行っていきます。文福の活動の趣旨に賛同して是非会員になって、一緒に活動したり支援したりして下さるよう、よろしくお願ひします。

☞**会員種別** 運営会員＝趣旨に賛同し、運営に関わる会員。総会で議決権を持つ。

月1回のペースで運営会議を行っています。

協力会員＝趣旨に賛同し、活動に参加したり支援したりする会員。意見を言うことはできるが議決権はない。活動への協力や経済的支援をして下さる方。

購読会員＝隔月刊のニュース「障ちゃん」や季刊誌「まっち」を購読する会員。

年会費を払えば無料でお届けします。

※全ての会員の皆さんに「障ちゃんニュース」や「まっち」を配送します。

☞会 費 運営会員・協力会員＝年 3,000円 入会金は初年度のみ 1,000円

購読会員＝年 1,000円 入会金無し。

☞会員申込 振込用紙を同封します。備考欄に会員種別を印字しましたので、入会する会員にチェックして会費をお振り込み下さい。

## ★2023 年度 会費納入のお願い★

会員の皆さんにはいつもご支援・ご協力ありがとうございます。今年度も会員を継続し年会費を納入して下さいますようよろしくお願いいたします。

会費は同封した振込用紙に印字してある会員種別にチェックをしてお振り込み下さい。

会員の継続には入会金はいりません。会員を変更される場合も、あらためて入会金を支払う必要はありません。

尚、振込用紙は会員の有無に関わらず同封しています。請求ではありませんので悪しからずご了承ください。



## 「まっち」26号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」25号テーマ『時代』を発行する事ができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をかりてお礼を申し上げます。m( )m

さて、次号のテーマは『キラッと光る涙』です。

大泣きしたのではなく、ちょっと涙した事、人に優しい言葉をかけられて涙した事、何かをやり遂げてその達成感で涙した事、嬉しくて涙した事、本を読んで映画を観てドラマを観て感動して涙した事、大好きな推しに会えて涙した事、スポーツ観戦で感動しキラッと流した涙、等々、そんな(キラッと光った涙)の事に興味を持ち、このテーマにしました。

貴方の『キラッと光る涙』について書いて頂き、『まっち』にお寄せ下さい。皆さんからのステキな原稿をお待ちしております。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしています。

原稿締め切り 2023年8月末日 発行9月末です。

メールでの投稿は、 [macchitti@gmail.com](mailto:macchitti@gmail.com) に

FAXでの投稿は、 (076) 460-0390 に

郵便での投稿は、 〒930-0138 富山市呉羽町 7276 - 3

NPO 法人 文福 『まっち』編集係

まで送って下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。 『まっち』編集者一同

## 令和 5 年度 4 月運営会議報告

### ○学習会

- ・ 5/27 (土) サンフォルテ 304 号室 上映会 (海を飛ぶ夢 2006)

### ○障害者部会

- ・ 北海道のあすなろ福祉会と厚生労働省に、強制不妊処置についての抗議文・要請文を送った。

- ・ 重訪のリーフレット 増刷。

- ・ 0 さんの銭湯の入浴拒否の件を、県の障害福祉課へ相談に行った。県の障害福祉課の相談室からの返答待ち。

- ・ 北陸銀行呉羽支店で、振込の介助等を拒否される。呉羽支店に言っても改めない場合は北陸銀行本店と県の障害福祉課相談室に訴えていく予定。

- ・ 富山短期大学健康福祉科学科が、県から委託を受け、呉羽地区で行っている「つなぐつながるプロジェクト介護魅力アップ推進事業」との連携を図る。

### ○介護・介助人派遣事業部

- ・ ザ☆カイジョ 基礎課程 7/1・2 追加課程 7/15 在宅実習 7/17~定員 6 名

### ○レクリエーション部

- ・ 3/18 市福祉プラザでボッチャ開催。参加は 21 名。その後、年度末会議。

- ・ 4/15 オンライン飲み会。参加者は 10 名未満。

### ○ニュース発行部

- ・ 12 ページ。新事務所のスタッフの感想がメイン。5/2 までに発送するように考えている。今回から、呉羽郵便局で発送。4/25 (火) 編集会議を予定。

### ○まっち発行部

- ・ 25 号完成。発送も完了。次号のテーマは「キラッと光る涙」。8 月末締切。9 月発行予定。

### ○総会

- ・ 6/10 (土) サンフォルテ 308 10:00~受付 10:30 開始

- ・ 総会後の講演会決定。今年のテーマ「今も続く差別に立ち向かおう」。14:00 開始。講師は福祉短大 鷹西教授。

- ・ 総会資料 4/22 までに揃えて欲しい。

- ・ 弁当代は事務方、講師謝礼は派遣から。総会の出欠は 5 月末までには出す。当日の役割分担は、5 月の運営会議で決める。議長は 5 月の理事会で決定。

- 職場説明・5/16 坂井担当 (他の人にも手伝ってもらっても可)

- 次回の運営会議 5/16 (火) 14:00~事務所にて。 報告者：日下

# 運営会議報告

2023 年 5 月 16 日現在

## [各部からの報告]

### ■ 学習会

5 月 27 日に上映会をします。タイトルは「海に飛ぶ夢」です。

### ■ 障害者部会

- ・市役所に重訪リーフレットを持っていきました。次回は派遣事業部が作る予定の重訪パンフと一緒に配る予定です。
- ・部会員が入浴拒否された件は、いろいろありましたが、結局のところ県庁に行っても進展はありませんでした。
- ・つなぐ・つながるプロジェクトに連絡して連携することになりました。
- ・部会員が H 銀行の K 支店で介助拒否された件で、銀行の入り口に「サポートの必要な方は申し付けて下さい」と張り紙がありました。窓口でお願いしても断られるようなら本店に訴えていこうと思います。
- ・事務所当番で来た時にトイレ・流し台は責任持って掃除して下さい。

### ■ 介助・介護人派遣事業部

正職員が入社。ただいま試用期間中。

6 月 24 日に福祉のお仕事フェアがあり、理事長参加予定。

### ■ レクリエーション部

集まって話しあう予定。

### ■ 障ちゃんニュース発行部

7 月発行。発送時に会費の振込用紙を同封予定。5 月 31 日締めきり。6 月 16 日原稿印刷。7 月 6 日までに発送をする予定。

### ■ まっち発行部

25 号は出来上がりました。26 号の原稿を募集中で 8 月末締め切りです。テーマは「キラッと光る涙」。9 月末発行予定です。

## [総会について]

■ 総会は、6 月 10 日 10 時半より開催予定。当日の役割分担を決めた。

\* 次回の運営会議は、7 月 25 日（火）午後 2 時から

文責 松岡



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎働く女性のためのセミナー

人に頼るのが苦手な「あなた」へ

幸せになるための受援力（頼る力）の磨き方

「頼る」ことと「迷惑をかける」ことは違う。

上手に頼ることは、良好な人間関係を築くきっかけになります。

このセミナーでは「頼ること」のポジティブな点をご紹介し、そのスキルの磨き方をお伝えします。

講 師 神奈川県立保健福祉大学大学院  
ヘルスイノベーション研究科 教授  
吉田 穂波 氏

日 時 7月22日(土) 13:30~15:30

場 所 富山県民共生センターサンフォルテ

受講料 1,000円

対 象 県内女性30名程度

お問い合わせ

富山県民共生センター「サンフォルテ」内 富山県女性財団

〒930-0805 富山市湊入船町6-7

TEL: 076-432-4500 (月曜・祝日は休み)

FAX: 076-432-5525



## ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう7月になります。一年の半分が過ぎました。6月には、総会があり、午後からは久しぶりに記念講演会を行いました。

これから暑い夏になりますが、水分補給をしっかりして栄養も取って熱中症にならないように気をつけて暑い夏を、元気で乗り切りたいものですね。  
(アパッチ)

### \*2023 年度新規会員・継続会員\*

荒戸 紗貴さま 粟島 克幸さま 浦上 孝徳さま 上田 孝子さま  
大野 啓子さま 河上 千鶴子さま 日下 正秀さま 久保 ゆかりさま  
坂井 由美子さま 居石 真理さま 先祖 貴代さま 福田 文恵さま  
中村 薫さま 西野 陽子さま 松岡 淑子さま 道永 麻由美さま  
村上 隆さま 森田 知恵さま 八木 勝自さま 吉田 健太さま

### \*いただきもの\*

居石 真理さま 鈴木 美明子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。